

第2回 21世紀 COE プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」国際シンポジウム 「水環境汚染とリスクマネジメント」

主催：横浜国立大学 21 世紀 COE プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」事務局
共催：エコケミストリー研究会、(社)環境科学会、環境システム計測制御学会、(財)国際生態学センター、国際システムダイナミクス学会、(社)電気化学会、(社)日本化学会、日本生態学会、日本土壌動物学会、(社)日本分析化学会、(社)日本水環境学会、(社)日本薬学会、日本リスク研究学会、横浜国立大学エコテクノロジー・システム・ラボラトリー、横浜国立大学共同研究推進センターほか(50音順)(予定)

開催趣旨：横浜国立大学大学院 21 世紀 COE プログラム「生物・生態環境リスクマネジメント」では、人間活動による生物や生態系に対するリスクを評価し、適切に管理するための環境科学の発展をめざしています。中でもアジア地域の環境を対象として国内外の機関と連携して研究を進めており、この度、「水環境汚染とリスクマネジメント」をテーマとして沿岸海域の生物多様性、残留性化学物質(POPs)汚染、および環境リスク評価等について考える国際シンポジウムを開催します。奮ってご参加下さい。

日時：2003年11月28日(金) 9:50～17:05

場所：横浜国立大学教育文化ホール(横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1)

[交通] <http://www.ynu.ac.jp/ynu/map/1.html>

会議の言語：外国人の講演については通訳を準備する予定

プログラム

- 9:50～9:55 開会挨拶 横浜国立大学 学長 飯田嘉宏
9:55～10:00 開催趣旨説明
拠点リーダー 浦野紘平(横浜国大院・環境情報研究院)
- 10:00～11:00 マレーシアの浅海域の生物多様性
Othman Haji Ross(University Kebangsaan Malaysia)
- 11:00～11:40 物質循環的視点から見た沿岸生態系の解析
菊池知彦(横浜国大院・環境情報研究院)
- 11:40～12:40 昼食
- 12:40～13:40 中国における残留性化学物質汚染と対策の方針
Gang Yu(Tsinghua University)
- 13:40～14:20 効率的な残留性化学物質対策のための測定・調査方法
加藤みか(横浜国大院・環境情報研究院)
- 14:20～15:20 残留性化学物質の環境挙動予測のためのマルチメディアモデル
Dong-Soo Lee(Seoul National University)
- 15:20～15:40 コーヒー・ブレイク
- 15:40～16:20 環境の生分解性ポテンシャルの評価方法
Nrashimau Rajendran(横浜国大院・環境情報研究院)
- 16:20～17:00 生態リスク評価および手法の現状と課題
中井里史(横浜国大院・環境情報研究院)
- 17:00～17:05 閉会挨拶
環境情報研究院長 井上誠一
- 17:30～19:00 懇親会 きゃら亭(キャンパス内)

参加費：無料 (ただし、懇親会は会費 3,000 円)

参加申し込み・問い合わせ先：

氏名、所属、住所、E-mail、電話番号、Fax 番号、懇親会の出席/欠席を記入の上、下記の連絡先までお申し込み下さい。

横浜国立大学大学院環境情報研究院 COE 事務局

FAX: 045-339-4430, E-mail: eco-coe4@ynu.ac.jp

COE ホームページ <http://www.bio-eco.ynu.ac.jp/> を参照下さい。